

浜寺聖書教会 メッセージ 2022年12月18日 担当；前山晋吾

タイトル；あなたの救い主、主イエス・キリスト

聖書箇所；ルカの福音書2章8-20節

命題；神があなたの救い主、主イエス・キリストを与えてくださった。

A すばらしい喜びの知らせ (8-12節)

新しく誕生した男の子はどのようなお方か？

1.救い主 (あなたの罪の救い主)

1) 罪からの救い主 マタイの福音書 1章 20~21節

"彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れなくてあなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」"

2) 罪とは神に対する不敬虔と不正

神以外を神とし、偶像を崇める罪 出エジプト記 20章 3~6節

"あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。

あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。

それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。"

創造主である神に対する罪 ローマ人への手紙 1章 18~23節

"というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。それゆえ、神について知られることは、彼らに明らかです。それは神が明らかにされたのです。神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。それゆえ、彼らは神を知っていながら、

その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。彼らは、自分では知者であると言いながら、愚かな者となり、不滅の神の御栄えを、滅ぶべき人間や、鳥、獣、はうもののかたちに似た物と代えてしまいました。"

罪の特徴、不正な言葉、行い、心 ローマ人への手紙 1章 28～32節

"また、彼らが神を知ろうとしがらないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。

彼らは、あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意とに満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪だくみとでいっぱいになった者、陰口を言う者、

そしる者、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者、わきまえない者、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者です。

彼らは、そのようなことを行えば、死罪に当たるという神の定めを知っていながら、それを行っているだけでなく、それを行う者に心から同意しているのです。"

神は私達の心を知っておられる。詩篇 44 篇 20－21 節

44:20 もし、私たちが私たちの神の名を忘れ、ほかの神に私たちの手を差し伸ばしたなら、

44:21 神はこれを探り出されないのでしょうか。 神は心の秘密を知っておられるからです。

すべての人は神の前に罪人である。

3) 罪の結果は死とさばきである

①火と硫黄の池の永遠の苦しみ ヨハネの黙示録 20 章 10 節、14～15 節

"そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。" ヨハネの黙示録 20 章 10 節

"それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。

いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。"

ヨハネの黙示録 20 章 14～15 節

②苦しみ場所 ルカの福音書 16 章 19－31 節

16:19 ある金持ちがいた。いつも紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。

16:20 ところが、その門前にラザロという全身おできの貧しい人が寝ていて、

16:21 金持ちの食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼のおできをなめていた。

16:22 さて、この貧しい人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふところに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。

16:23 その金持ちは、ハデスで苦しみながら目を上げると、アブラハムが、はるかかなたに見えた。しかも、そのふところにラザロが見えた。

16:24 彼は叫んで言った。『父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。私はこの炎の中で、苦しくてたまりません。』

16:25 アブラハムは言った。『子よ。思い出してみなさい。おまえは生きている間、良い物を受け、ラザロは生きている間、悪い物を受けていました。しかし、今ここで彼は慰められ、おまえは苦しきもだえているのです。』

16:26 そればかりでなく、私たちとおまえたちの間には、大きな淵があります。ここからそちらへ渡ろうとしても、渡れないし、そこからこちらへ越えて来ることもしません。』

16:27 彼は言った。『父よ。ではお願いです。ラザロを私の父の家に送ってください。』

16:28 私には兄弟が五人ありますが、彼らまでこんな苦しみの場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』

16:29 しかしアブラハムは言った。『彼らには、モーセと預言者がいます。その言うことを聞くべきです。』

16:30 彼は言った。『いいえ、父アブラハム。もし、だれかが死んだ者の中から彼らのところに行ってやったら、彼らは悔い改めるに違いありません。』

16:31 アブラハムは彼に言った。『もしモーセと預言者との教えに耳を傾けないのなら、たといだれかが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない。』

神の前に罪を悔い改めていないものは、必ず、裁きを受ける。

2.主（人となられた神）

1) この方は神である

主；ギリシャ語；キュリオス ← ヘブル語 ヤーウェ「神」70人訳でギリシャ語に訳す
羊飼いはユダヤ人、彼らは「神」と聞いた。

文脈でも、主の使い、主の栄光→神の使い、神の栄光

御使いは、新しく誕生した子供が、「神である」と伝えた。

主イエス・キリストは100%神である。

2) この方は人である

女の人、マリヤから産まれた。 主イエス・キリストは、100%、人である。

"キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。"
ピリピ人への手紙 2章 6~8節

神の御姿；モルフェー 内側の本質が外側に姿となって明らかとなる。

人としての性質、姿；スケーマ 時間と共にかわる外見や姿

仕えるものの姿；デュロス 奴隷、最下層の奴隷

3.キリスト（神が備えられた救い主）

キリストは油注がれたもの 神の子羊

あなたの罪のいけにえとなるために 人となられた神

罪の代価はいけにえの血が必要と定められた。レビ記 17章 11節

"なぜなら、肉のいのちは血の中にあるからである。わたしはあなたがたのいのちを祭壇の上で贖うために、これをあなたがたに与えた。いのちとして贖いをするのは血である。"

"それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。"

ヘブル人への手紙 9章 22節

"もしそうでなかったら、世の初めから幾度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかしキリストは、ただ一度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。"

ヘブル人への手紙 9章 26~28節

キリストはあなたの罪の罰を身代わりとして、罪の代価を完全に支払うため、神の怒りをなだめるために、いけにえとなってくださった。

- 1.布にくるまって
- 2.飼葉桶に寝ている ロバ、牛などの餌をいれるもの
- 3.みどりご 新生児

B.御心にかなう人々の祝福 (13-14 節)

御心にかなう 神に喜ばれる 神のお心にかなう
選ばれた

平安 エイレーネ 神との平和、平安

救いを受け入れ、神と和解したものは、神にあって平安をもつ。

"ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。"

ローマ人への手紙 5 章 1 節

"しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。

もし敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させられたのなら、和解させられた私たちが、彼のいのちによって救いにあずかるのは、なおさらのことです。

そればかりでなく、私たちのために今や和解を成り立たせてくださった私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を大いに喜んでいるのです。"

ローマ人への手紙 5 章 8～11 節

C 知らせを受け入れた人々の応答

御使いの知らせを聞いた羊飼いの応答

1. 神からのメッセージと認め、受け入れた
主が知らせてくださったと信じた

2 急いで行って

熱望して 熱心に

放牧していた羊をおいて

自分の財産や地位にこだわらないで

3 捜し当てた

マリヤとヨセフと飼葉おけに寝ておられるみどりご

御使いの知らせの通りであることをみた

4 幼子について告げられたことを知らせた

神のことばを伝えるものとなった

5 神をあがめ、賛美しながら帰っていった

神を礼拝するものとなった

羊飼いは、神のくださったすばらしい喜びの知らせを信じ、受け入れた。

このかたが、自分の、救い主、主キリストであると信じ、神を崇め、賛美し、礼拝するものとなった。

あなたはいかがですか？神はあなたを愛して救いを備えてくださいました。

あなたの救い主、主イエス・キリストは既にこの世に来られました。それが、クリスマスです。あなたは、主イエス・キリストを、あなたの救い主、主キリストとして、受け入れ、お信じになりますか？あなたを愛して救いを与えようとされる神を、信じて、従う決心をなさいませんか？

"神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。"ヨハネの福音書 3章 16～17節